

イタリアとスペインの政局混迷

発表日：2018年5月29日(火)

～好景気の影に隠れていた政治リスクが噴出～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

- ◇ イタリアでは大統領がIMF元高官のコッタレリ氏にテクノクラート政権を率いることを要請。反体制派が過半数を握る議会で信任投票が否決されることは確実で、秋の解散・総選挙に向けて動き出した。反体制派が一段と議席を上積みすれば、大統領が反体制派政権の誕生を拒むことは難しくなる。
- ◇ スペインではラホイ首相の不信任動議の採決が6月1日に固まった。野党勢の足並みの乱れから、今回の不信任動議は否決される可能性が高い。ただ、国民党政権に閣外協力する新興政党も首相の退陣を求めており、予算審議の停滞から秋にも解散・総選挙となる可能性がある。

昨日のレポートで伝えた通り、イタリアとスペインの両国は秋のダブル選挙に向けて動き出した。イタリアでは、五つ星運動と北部同盟の反体制派2党が推す財務相候補を拒否したマッタレラ大統領が28日、IMFの元高官であるコッタレリ氏にテクノクラート政権を率いることを要請した。同氏の首相就任には五つ星運動と北部同盟が過半数を持つ上下両院の信任投票が必要で、否決されることが確実。その場合、コッタレリ氏が暫定的に選挙管理内閣を率い、秋にも解散・総選挙が行われる可能性が高い。最新の世論調査では、五つ星運動が引き続き30%前後の支持でリードしているが、北部同盟が一段と支持を伸ばしており、一部の調査で25%を超えるものも出てきた。五つ星運動は北部同盟と統一会派で再選挙を戦うことを呼び掛けており、反体制派2党の獲得議席は3月の選挙を上回る可能性が高い。前回選挙でフォルツァ・イタリアなどと右派会派として戦った北部同盟は今のところ態度を保留。ただ、両党は今回の大統領による反体制派政権の誕生阻止を批判しており、選挙戦でも手を結ぶ可能性が高い。ユーロ懐疑論者の経済学者サボナ氏の閣僚任命を拒否した大統領の決断は、反体制派の格好の攻撃材料となる恐れがある。このまま再選挙で両党が一段と議席を積み増せば、大統領が反体制派政権の誕生を拒むことは難しくなる。

スペインのラホイ首相に対する不信任動議は、5月31日に下院で討議され、6月1日に投票が行われることが固まった。中道左派の最大野党・社会労働党が提出した不信任動議は、同党のサンチェス党首を次期首相候補とするもので、新興左派政党のポデモス連合が協力する意向を表明している一方で、中道右派の国民党政権を閣外協力してきた新興リベラル政党・シウダダノス（市民）が協力しない方針を示唆している。シウダダノスはラホイ首相が秋の解散・総選挙に同意するのであれば、予算審議などに協力する意向を示唆している。逆に首相が自ら議会の解散を決断しない限り、社会労働党とは別の形で首相の退陣を要求することを主張しており、今回の不信任動議は棄権する可能性が高い。ただ、社会労働党のサンチェス党首やシウダダノスのリベラ党首以外の中立的な第三者を首相候補とし、不信任動議が可決した場合に速やかに議会の解散・総選挙を行うことを条件に、不信任動議に賛成する構えも示唆している。政権打倒のために社会労働党とシウダダノスが土壇場で協力する可能性も残っている。

同国の憲法113条によれば、不信任動議の可決には、下院の絶対過半数（棄権者を含めた議会定数の過半数）が必要となる。定数350の下院の絶対過半数は176。社会労働党と同党に近いカナリア諸島の地域政党の合計議席が85、ポデモス連合と同党に近いバレンシアの地域政党の合計議席が71で、両勢力（合計156）だけでは首相の不信任は通らない。不信任動議の可決には、32議席を持つシウダダノスの協力か（合計で188）、国民党寄りではない全地域政党の協力（その場合の合計は180）が必要となる。

後者の場合、カタルーニャの独立を主張する地域政党の協力で政権交代を実現するのが政治的に可能か（同州への自治拡大や独立投票の実施を要求される恐れがある）、バスク州への手厚い予算配分の見返りに与党の予算案に閣外協力するバスク人民党（5議席）の協力が得られるかは不透明だ。バスク人民党は右派系の地域政党で、政策的な立ち位置は国民党政権に近い。同党はカタルーニャの自治停止を理由に予算案への協力を取り止めてきたが、つい先日、予算案の成立に協力した。これは、このまま予算不成立で国民党政権が倒れ、解散・総選挙となれば、世論調査でリードするシウダダノスが主導する政権が誕生し、バスク州に認められた特権が剥奪されることを恐れたためとされる。バスク人民党は、社会労働党の不信任動議に賛成するためには、国民党政権下で認められてきたバスクへの特権を維持することと、政権交代後に議会の解散・総選挙をしないことを条件に掲げている。バスク人民党の協力が得られない場合、カタルーニャも含めた国民党寄りではない全地域政党が協力したとしても、1票差で不信任動議は通らない。仮に地域政党の後押しでラホイ首相の退陣に成功したとしても、政権交代後の議会運営に苦慮することは目に見えている。政権基盤を強化するため、どこかの段階で議会の解散・総選挙に踏み切るのが自然だ。

（表）スペインのラホイ首相に対する不信任投票の票読み

【①シウダダノスが協力】

| <賛成> | | <反対> | | <棄権> | |
|----------|-----|------------|-----|-----------|----|
| | 188 | | 138 | | 24 |
| 社会労働党 | 84 | 国民党 | 134 | カタルーニャ（左） | 9 |
| ポデモス連合 | 67 | ナバラ（右） | 2 | カタルーニャ（右） | 8 |
| シウダダノス | 32 | アステゥリアス（右） | 1 | バスク（右） | 5 |
| バレンシア（左） | 4 | カナリア（右） | 1 | バスク（左） | 2 |
| カナリア（左） | 1 | | | | |

【②国民党寄りでない地域政党が全員協力】

| <賛成> | | <反対> | | <棄権> | |
|-----------|-----|------------|-----|--------|----|
| | 180 | | 138 | | 32 |
| 社会労働党 | 84 | 国民党 | 134 | シウダダノス | 32 |
| ポデモス連合 | 67 | ナバラ（右） | 2 | | |
| カタルーニャ（左） | 9 | アステゥリアス（右） | 1 | | |
| カタルーニャ（右） | 8 | カナリア（右） | 1 | | |
| バスク（右） | 5 | | | | |
| バレンシア（左） | 4 | | | | |
| バスク（左） | 2 | | | | |
| カナリア（左） | 1 | | | | |

【③シウダダノスとバスク人民党が棄権】

| <賛成> | | <反対> | | <棄権> | |
|-----------|-----|------------|-----|--------|----|
| | 175 | | 138 | | 37 |
| 社会労働党 | 84 | 国民党 | 134 | シウダダノス | 32 |
| ポデモス連合 | 67 | ナバラ（右） | 2 | バスク（右） | 5 |
| カタルーニャ（左） | 9 | アステゥリアス（右） | 1 | | |
| カタルーニャ（右） | 8 | カナリア（右） | 1 | | |
| バレンシア（左） | 4 | | | | |
| バスク（左） | 2 | | | | |
| カナリア（左） | 1 | | | | |

注：色つきは地域政党、括弧内は右派寄り（右）と左派寄り（左）の区別
出所：第一生命経済研究所が作成

以上